荒川剣龍峡登山道ルートマップ

荒川剣龍峡登山道は、県立自然公園に指定されている剣龍峡を起点とする、全長約６km（「①剣龍峡」→「⑪花ノ木平登山口」まで）の登山道です。起伏に富みアップダウンが連続するポイントもあり、初級者から中級者まで楽しめるコースです。登山道からは、越後平野や飯豊連峰、日本海等大パノラマの景色を楽しめます。

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

作成：里山を活用した地域活性化事業実行委員会

① 剣龍峡（登山口）

県立自然公園に指定されている風光明媚な峡谷で、滝の流れと清流には奇岩が露出して、天然の庭園を形づくっている。この幽玄な渓谷は周囲の雄大な山並みの景観と相まって、まさに一幅の南画をみるようだ。新緑に映える時節や、紅葉が彩る晩秋には、家族連れのキャンプ、ハイキングで賑わう行楽の地でもある。この渓谷の中心には、龍の剣掘りがあり、近くには鬱蒼とした神木の杉木立に囲まれた山の神神社が祀られている。

周辺には、みそぎの滝を始め、不動の滝、夫婦岩があり、山の神神社参道入国の鳥居には数トンの巨石太鼓石もある。荒川川の源流付近には、樹齢高い二本杉、カツラの木やトチの木の巨木も保存され、登山コースの峰添いにはブナ林が群生し、低山にしては稀有であると評価され、探勝価値のある個所が多くが点在している。

至 荒川集落

② 山の神奥の院

登山口より、20分程で一ノ坂、二ノ坂、三ノ坂の急登を終えると、山の神神社奥の院が鎮座され、石の祠で祀られている場所に着く。最初の小休止をとると、直下には月岡温泉の一部も望まれる。

③ スズメノロ（グチ）展望台

この地名の由来は更正図の小字名にスズメノグチがあり、その形が「雀のひばし」に似ていることから呼ばれているが、焼山（火山）の「進む入口」や「鎮める入口」から採っているとも言われているが定かではない。登山口から、上り始めて約１時間位で到着。小休止すると良い。ここまで、広葉樹林に覆われた登山路も、漸く展望が開ける所。季節によっては、エビネやショウジョウバカマ、コブシ、藤の花が咲いている。

④ 焼山（ヤケヤマ）

スズメノロから広葉樹林帯を30分も歩くと、最後の急な木道階段を上りきって、峰沿いにでる。やがて、標高 540mの焼山の頂に着くと、360度の大パノラマが開けてくる。晴れた日には、日本海が一望でき、北に朝日連峰、その左手奥には鳥海山（冬期）、更に北東には、北股岳、御西岳、飯豊山、大日岳の飯豊連峰、その山並みの手前にはニ王子岳、南方には、眼前に五頭連峰の金鉢山がどっしりと構えている。しばらく展望が楽しめる。太古の時代に噴火した火山と言われ、頂上付近には風穴が数か所あり、往時の姿が残っている。また、梅雨頃には紅白のヨツバドウダンやヤマツツジが可憐に咲いている。一服の清涼剤となる場でもある。

⑪ 花ノ木平登山口

隣接する北側の松岡集落との境界線で、広域林道南部線沿いに位置し、登山口前の林道広場には耐松喰い虫用の千年松が植樹されている。この登り口より下藤沢まで40分は要する。この場所より50m下った地点には、日本海が眺望できる竣工記念碑の展望台も設けられている。ゆっくり眺望できる。

⑩ 下藤沢（シモトゾウ）

平たんな花ノ木平を45分程の歩を進めると、下藤沢の展望台に着く。眼前の真下には新発田の市街地、遠くには、大峰山、晴れた日には日本海や粟島も望められる。ここから一気に下れば、15分ほどで、終着の広域林道の南部線沿いの道路、花ノ木平登山口に出る。この周辺には春先になると、林間にヤマボウシやホウノキの白い花、クマノミズキ、ヤマアジサイの花も見頃になっている。

⑨ 花ノ木平

穴マクリ展望台から北へ、比較的平坦な尾根歩きが続く一帯を花ノ木平と呼び、谷側の荒川川の源流である沢をみながら、樹齢 200年のケヤキやブナの根曲がり大木の下を歩くコースである。この周辺には、ナラ、ナナカマド、ヤマモミジも混在し、紅葉の頃には見事に映える場所でもある。

株立ちするブナ（穴マクリ付近）

⑧ 穴マクリ展望台

正面の眼下には、内の倉ダムが見えて、背後には焼峰山、ニ王子岳がそびえ、その奥には飯豊連峰も眺望できる。右手上方面には、俎倉（ﾏﾅｲﾀｸﾗ）山や蒜場（ﾋﾙﾊﾞ）山等も眺められる。焼山の頂上からの眺望とは、また一味違った眺めである。

道中では、見事なブナ林を見ることができる。（上：焼山−堀切水場、右：コマタ山頂付近）

⑦ハリ沢の鎖場

剳沢（ワリゾウ）と言われて、荒川山で最も長い沢で、明治年間に鉄索で赤谷鉱山から鉄鉱石を福島湯まで運び、船で九州・八幡まで搬出する計画があり、鉄索台の基礎を築くために削った場所とも伝えられている。今でも、この登山ルートには、基礎工事用の赤煉瓦が散見される。この計画は日露戦争の勝利により中止となったが、その崖は転落防止に鎖が張られている。風雨の時は要注意の箇所である。

⑤ 堀切の水場（分水嶺）

元禄年間に新田開発が行われて以来、荒川集落は水不足に悩まされて、五頭山系の金鉢山水系を用水とする隣接の折居集落との折衝により、崖を割って、もらい水として流された水場所である。この登山コースで唯一の水場であり、金鉢山の冷水を汲み取りながら、しばしの小休止場所。

⑥コマタ山頂

堀切の水場をおよそ20分ほどで登りきると、登山道の最高峰・標高 634mのコマタの山頂に到着。弥彦山と同じ高さでもあり、遠くに眺望もできる。また東京のスカイツリー開業記念に合わせて、同じ高さの山頂に標柱が建てられている。この地の東側は旧会津藩領、北方向は新発田藩領であつて、荒川から以南は幕府領でもあることからも、大事な分岐点でもあった。この南東には、標高 888mの金鉢山や954mの松平山へ通じるが、登山道としては未整備で藪になっており、注意を要する。この山頂からは下り道となるが、ブナの根が雨で洗われてむきだしている箇所があり、滑り易いので慎重に下りたい。北方向の峰歩きが続くが、4月の上旬から中旬には雪解けとともに、尾根沿いに、イワウチワの群生で咲き乱れている。時には、林間にイワカガミも見られる。

登山コースの概要

（周遊コース：全長7.25km）

登山時期：1 2 3 4 **5 6 7 8 9 10 11** 12

① 荒川剣龍峡登山口	0.72km	0.48km	0.36km
0.5km	④ 焼山	⑦ ハリ沢鎖場	⑩ 下藤沢
② 山の神奥の院	0.91km	0.24km	0.52km
0.76km	⑤ 堀切水場	⑧ 穴マクリ展望台	⑪ 花ノ木平登山口
③ スズメノロ展望台	0.33km	0.8km	1.63km
	⑥ コマタ山頂	⑨ 花ノ木平	① 荒川剣龍峡